

# ふるさと歴史アラカルト

## 江戸時代におけるマツタケ

そろそろ食欲の秋も終わりを迎えますが、皆さんは秋の味覚といえは何を連想しますか。今回は、秋の味覚の一つ「マツタケ」にまつわる話を紹介します。

マツタケといえば現在では高級食材ですが、江戸時代では全国各地の山に多く自生していたと言われています。

岩国藩内でも、諸所の山にマツタケが自生していたようです。藩政府の管理下に置かれたマツタケもありました。

『岩邑年代記』の天保4(1833)年10月の記述には、城山(横山)に忍び込んでマツタケを盗んだと疑われる2人の武士を役人が詰問したことが記されています。この時2人は苦しい言い逃れをしましたが、盗んだ確証も得られないため銭百文の罰金で許されています。また岩国では、山の管理を務める山川方の中に「松茸番人」という職が設けられ、城山のマツタケを無断で採らないように取り締まってもいました。

マツタケは季節の贈り物としても好

まれました。『御取次所日記』の寛永20(1643)年9月の記述には、藩政府が永興寺など有力寺院へ、マツタケを一鉢ずつ贈ったことが記されています。

さらに『御納戸日記』の文久2(1862)年間8月の記述には、城山で採れたその年の初マツタケが例年の通り納められたことや、駄床村から初マツタケが献上されたことが記されています。

またマツタケ特有の香ばしい香りは昔から広く好まれ、焼く・蒸すなど、さまざまな方法で調理されました。岩国藩が上関で歓待した朝鮮通信使もマツタケを好んだらしく、歓迎の料理の汁物に入れてもてなしています。

今回挙げた記述からは、江戸時代にもマツタケが、今と変わらず人々を引き付けていたことが分かります。食材が昔はどのように親しまれていたか知ることが出来るかもしれないかもしれません。

### 岩国徴古館

昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館

住所：横山二丁目7-19 ☎0452  
休館日：月曜(祝日の場合はその翌日)

※1 岩国藩における年  
代記

※2 来使の応接や儀式  
を担当する部署における  
日誌

※3 藩主の宝物や古文  
書などを保管する部署に  
おける日誌

※4 現在の美和町上駄  
床周辺



▶『朝鮮人來朝方覚書』  
朝鮮通信使歓迎の本膳  
料理でマツタケの入った  
汁物が振る舞われた  
ことが記載されている

## 岩国市 人口・世帯

人口 137,044人 【前月比 - 56人】 男性 65,056人 女性 71,988人

世帯 66,111世帯 【前月比 - 31世帯】 ※外国人人口を含む (平成29年10月1日現在)

交通事故発生件数 9月分事故件数 40件(374件) 死者数 1人(6人) 傷者数 45人(440人)

※高速道路発生分を除く ※ ( ) 内は平成29年累計

### 広報テレホン

休日在宅医療機関、イベント情報などをお知らせしています。 **テレホンサービス ☎231234**

### 目の不自由な人へ

「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。音声読み上げのためのテキスト版を、ホームページに掲載しています。

お問い合わせはお気軽に、広報戦略課広報班へ ☎295016 FAX213337